

地域情報誌
2017年4月
(No32)

DE すがね

〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会

祝 入学!! 新一年生インタビュー

この春、須磨小学校は新入生4名を迎えて児童数は15名。ますます地域に活気をもたらしてくれと思います。そこで、新入生の保護者にインタビューをして頂きました。

(1) 学校で楽しみな事は? (2) 好きな食べ物は? (3) どんな遊びが好き? (4) 将来の夢は?

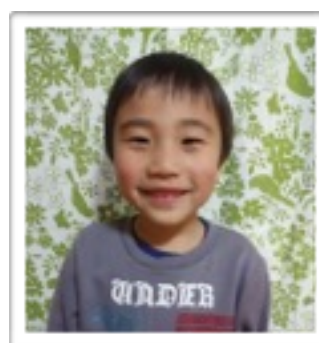


一色 蒼逸 (いっしき そういち)

- (1) みんなで給食を食べること
- (2) いちごが大好きです
- (3) のぼりぼうでいちばん上まであがること
- (4) お父さんみたいになること

須田 青慈 (すだ せいじ)

- (1) みんなと昼休みに遊ぶことです
- (2) から揚げ!!
- (3) お父さんとする野球が好きです
- (4) 野球選手になることです



廣實 愛衣 (ひろざね まとい)

- (1) 世話好きなので少人数学級では毎日できる「給食当番」を楽しみにしています。
- (2) お魚
- (3) のぼり棒
- (4) けいさつ官 (取り締まりが厳しそうですね・・・ (母))

福田 樹矢 (ふくだ みきや)

- (1) 勉強
- (2) チャーハン
- (3) サッカー
- (4) フルーツパークの四代目になること



人物紹介

福田 寛さん

(ふくだひろし) さん



(大津島フェリー船上にて)

いつも自転車で須金を颯爽と駆け抜ける福田寛さん。耳が聞こえないというハンディキャップを持ちながらも、いろいろな行事に積極的に参加されています。今回は大津島交流会に参加されている所をインタビューさせていただきました。

Q. いつも色々な行事に積極的に参加されていますね？

1人暮らしだから元気でいなければいけないので、規則正しい生活をして、行事にはなるべく参加します。家の周りの草刈りなどをして、足腰を鍛えるために頑張っています。広瀬まで自転車で買い物に行くこともあります。

Q. 生活の中での楽しみはなんですか？

ビールが楽しみで、自分でつまみをつくって飲んでいきます。ご飯の作り方も、母のを見て覚えているし、お茶を摘むところから作ることも出来ます。

あと、病院の帰りにお好み焼きを食べるのが楽しみです。

Q. 耳はいつから聞こえないのですか

生まれた時から聞こえません。2年遅れて須磨小学校に通い、中学校の途中から山口の聾学校に通いました。

Q. 困ることは何ですか。地域で助けられることはありますか？

1人で大丈夫ですが、訪問販売と宗教関係の訪問には困ったことがあります。また困った時には相談にのってほしいです。

須金は小さい地域なので、福田さんの事はみんな知っていると思います。それが、福田さんにとっては、生活しやすさにつながっているようです。これからも、みんなで積極的にコミュニケーションを取るようにしていきましょう。

(手話通訳：大下 鈴美/文：三牧 清隆)

新連載！！西村太一の「ぼくは猟師になった」

時の流れは本当に速く、須金に来てあっという間に1年が経ちました。その短い間に、サル、イノシシが作物や畑を荒らして困るという話を多く聞きました。須金は市川さんという腕の良い猟師さんが定期的に回っていますが、いつもおられるわけではありません。

そんな時、周南市の若い職員が「猟銃の免許を取るつもりなのですが、西村さんはどうですか？須金なら役に立つと思いますよ。」と言ってきました。今思い返すと、そいつは酒も入っていて、恐らく半分冗談のつもりだったと思います。しかし、脳みそが単純な人間に決意させるには充分な一言でした。

それから、半年以上かかって「第1種銃猟免許」と「銃砲所持許可」という、なんとも物騒なものをようやく取得することができました。銃砲所持許可は警察（公安委員会）へ申請するのですが、基本的に許可は出さないとわれ、何度も足を運び苦労しましたが、それだけ危険なものを扱うという事だと思います。

とにかく、須金の田畑を守りたい！その思いでこれからも一人前の猟師目指して、勉強していきたいと思います。

(須金支所/西村 太一)



新コーナー 書評DE SUGANE

今月から始まった新コーナー、「書評DE SUGANE」。須金公民館文庫（須金支所内）にあるオススメ書籍を各編集委員（そのうちみなさんにも！？）が紹介していきます。第一回目の今回は、こちら！

●『GO WILD 野生の体を取り戻せ! 科学が教えるトレイルラン、低炭水化物食、マインドフルネス』

(ジョンJ.レイティ, リチャード・マニング (著), 野中 香方子 (翻訳)/ NHK出版)



個性的なタイトルに、気になった方もいらっしゃるのでは？サブタイトルに「野生の体を取り戻せ！」とある通り、本書は文明化が招いた現代人の苦しみをもう一度、野生化することで取り除いていこう！というもの。

そもそも人間の体は20万年前から変わっておらず、野生の体には、ガンも鬱も肥満も高血圧もありませんでした。人間の体と心が本来持つ治癒力を使い、現代生活の痛みやストレスから逃れて、健康と幸せを手に入れるためのヒントがぎゅぎゅ詰まっています。最近話題となっている糖質制限やパレオダイエット、山や自然を走るトレイルランニング、そして注目の瞑想法などを、人類の進化の観点から科学的かつ包括的にとらえた本書。読み進んでいくうちに、自然豊かな須金で生きる私たちにとってますます実践できることばかりだな～、もしくはあまり意識はしないけど、もう実際にやっているんじゃないかなあ～、そんなちょっと優越感に浸れる一冊でもあります。気になった方は是非、須金支所へ、そしてGO WILD!一緒に野生の体を取り戻しましょう。

(文/須田 浩史)

須金地区主な行事予定

(4～5月)

4月

- 4月 1日（土）大津島交流会
- 4月 7日（金）地区歓送迎会
- 4月 9日（日）それーねの日
- 4月 10日（月）小学校始業式・入学式
コミュニティ理事会
- 4月 18日（火）やまびこ号

5月

- 5月 5日（金）亀山八幡宮春祭
- 5月 6日（土）農ganic Festa2017
- 5月 8日（月）コミュニティ理事会
- 5月 9日（火）やまびこ号
- 5月 14日（日）それーねの日
- 5月 20日（土）防災アンテナ完成式典
- 5月 24日（水）やまびこ号

DEすがね掲示板

◎空き家情報をお寄せください◎

周南市では、空き家の有効活用と定住促進による地域活性化、住替えによる住環境の改善を図ることを目的として、空き家情報バンクを開設しています。須金地区からも空き家情報を積極的に発信していきたいと考えています。空き家を貸したい方・売りたい方、またはその様な方をご存知の方は公民館までお知らせください。

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報誌は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。

須金で育て、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



特別連載 須金歴史探訪

須金の生い立ち (5) 鎌倉～室町時代

文 高橋 勝己

源平合戦の後、13世紀の鎌倉時代に、鶴岡一族は関東から周防のこの地に入り、大内氏に仕えました。当時、亀山八幡宮があった一升谷の宮の原に土居を構え、そこで地盤を固めていったとのこと。そしてそのころ、門司、赤間ヶ関、豊後水道を支配し、瀬戸内まで勢力を伸ばしてきていた北条氏の支配から大内氏と共に周防の地を守りました。その後、鶴岡家は大内氏に忠誠を尽くしたのです。

周防の支配者になった大内氏は、南北朝時代、建武の親政において周防の守護職となります。その命を受けた鶴岡義重が1392年（明德3年）須磨村に分領を受け、この地を治めることとなりました。その翌年には17代鶴岡兼重が現在の地に亀山八幡宮を再興し、1398年（応永5年）一升谷の蓮華寺を再建します。

時代は流れ1553年（天文22年）2月26日、陶隆房が大内義隆を殺害した後、大内氏に忠誠を誓っていた鶴岡家をはじめ須万の土豪たちは170人を集め、若山城を攻め、陶隆房を討つために、野谷茶臼山要害にて密会をしていたところ、その動きを察知していた陶隆房は麻生蔵人を使い、500人余りの軍勢にてその夜、茶臼山に攻め入り放火しました。鶴岡周防守らは不意を打たれ、煙の中で自由がきかず、ついに敗軍となりました。53人が討死、21名が手負いとなりました。このとき須万の土豪は壊滅したのです。

(次回につづく)



(写真：現在の蓮華寺)

編集後記

ようやく桜が咲き始めた春の須金。出会いと別れが交錯するこの季節は、なんとなく嬉しくもあり、物悲しくもある複雑な気分になりますよね～。新しい春を迎えたすべての人が、幸せでありますように！（須田）